

# 第2期めざせ！ 子ども司書講座 新聞 第5号

## 本の選書にチャレンジ!



第5回目の講座は、本の選書にチャレンジです。選書とは、言葉通り、本を選ぶことです。

普段、皆さんが本を買うとき、どのように選んでいますか?『面白そうだな』とか『新しいシリーズの本だから読んでみようかな?』などのように考えて選んでいると思います。図書館も皆さんと同じように選んで本を買っています。読みたい本を選ぶだけなら簡単かもしれませんが、図書館は沢山の人が利用します。小説を読みたい人もいれば、絵本をたくさん読みたいと思う人、勉強するために参考となる本を読みたいと思う人など、誰もが同じ本を読みたいわけではありません。このように、いろいろな人の役に立つ本を選ぶことは難しいことなのです。

では、図書館はどのように本を選んでいるのでしょうか?買う方法はいろいろありますが、図書館には、どんな本を選んで買うか、あるルールを決めています。選書方針といえます。

子供向けの本ばかりではないし、読み物ばかりじゃ駄目です。他にも学習に役立つ本は数が足りているのかな?同じ本はないかな?など、いろいろなバランスも考えています。実物の本を読んだり、いろいろな出版社が発売している本のカタログを見たり、インターネットで調べることができる書店のホームページを見たり、いろいろな方法で買う本を決めます。今回、皆さんに体験してもらったのは、実物の本を選んで決める方法です。「選ぶ」という作業は難しいけど、楽しいことでもあります。選ぶから、探す楽しみや読む楽しみもあります。

皆さんには一人5冊〜10冊程度の本を選書してもらいました。これらの本を図書館で購入して本の登録をし、他のお友達にも読んでもらえるように専用の本棚も作りたっています。



皆さんに体験してもらったのは、実物の本を読んで決める方法を『見計らい選書』といいます。専門の書店や出版社が沢山の本を図書館に持ってきます。今回は『十社の会』(借成社)に協力をいただきました。ありがとうございました。

十社の会とは、子どもの本専門出版社が協力して学校や図書館に子どもの本を紹介するための結成された会です。

また、第1期生の子ども司書も一緒に選書を行いました。『この本見たことないな』『図書館にあったかな?』など、いろいろなことを考えながら選んでいました。

### 次回の講座予定

次回の第6回目は、9月15日(日)午前10時からです。

今回選んだ本の登録や装備をする作業、そして本の紹介(ポップ)の下準備を行います。お楽しみに!